

# TEGOネットだより浜田

「てご」とは、方言で「手伝う（支援する）」という意味です。

平成21年4月9日 第23号  
浜田市農林業支援センター

## メンバー変更のお知らせ

4月の人事異動により、浜田市農林業支援センターのメンバーに変更がありましたのでお知らせします。

浜田市の職員については、前係長の佐々本が産業政策課（はまだ産業振興機構）の専門企画員として異動し、新規就農を担当していた河内は金城支所自治振興課自治振興係長に昇任しました。また、県の大畑前課長は松江市に赴任し、現在はしまね農業振興公社で勤務されています。

新年度の体制は右のとおりとなります。結果として、支援センターの常駐職員が1名減となってしまいましたが、スタッフ一丸となって事業に取り組んでいきたいと思っておりますので引き続きよろしくお願いいたします。

浜田市農林業支援センター長 齋藤 寛

### 浜田市農林課（常駐）

センター長	齋藤 寛
普及支援係長	岡本彰治 <b>新任</b>
主任主事	松井和雄
主事	前原健一
主事	森井 洋

### JAいわみ中央 営農企画課（常駐）

審査役 塚本 守・石橋しおり・前田妙子

### 島根県西部農林振興センター（協働）

浜田地域振興グループ課長	景山祐子 <b>新任</b>
専門農業普及員	福岡靖徳
主任農業普及員	陶山研治
主任農業普及員	内田芳朋

## 1. 環境農業実践セミナー【～2009 小祝塾 in 浜田～】を開催します

浜田市においては、「いわみ地方有機野菜の会」による有機軟弱野菜や、弥栄町における有機・エコ水稻栽培など、県内でも先進的な環境農業が実践されています。その一方で環境農業は一般に普及できる技術が確立できておらず、個々の農業者などの「経験と勘」に依存することが多いため、収量や品質が不安定となっています。

こうしたことから島根県では、土壌分析による「理論とデータ」に基づく有機農業手法を提唱されている(株)ジャパンバイオフィームの小祝政明氏を講師に招き、同氏の理論と技術を習得することで、安定した収量の確保を目指すセミナーを開催することになりました。どうぞご参加ください。

日時：4月19日(日) 午前9時～午後5時

会場：弥栄会館研修室、及び弥栄町内の現地圃場

内容：有機栽培の基礎と実際、土壌分析手法と結果に基づく施肥設計 など

定員：50名

申込先：島根県西部農林振興センター（29-5618）または 浜田市農林業支援センター（22-3500）

【申込締切... 4月15日(水)】

本セミナーについては、4月以降も継続して開催する予定です



## 2. 「センチピードグラス（畦畔除草対策）栽培講習会」のご案内

中山間地域は水田の畦畔面積率が高く、水稻作業別労働時間の中で、畦畔の草刈に要する時間が特に大きくなっています。

そこで、畦畔の草刈に係る負担を軽減することを目的に、センチピードグラス(畦畔管理用芝)を活用した除草対策の講習会を開催します。出席を希望される方は当支援センターまでご連絡ください。

日時：4月14日(火) 午前10時～11時30分

会場：JAいわみ中央本所2階 ふれあいホール

【申込締切... 4月13日(月)】

### 3. 各支援チームからの話題

#### 新規就農支援チーム (担当: <sup>まえばら</sup>前原・<sup>つかもと</sup>塚本)

## 認定就農者が誕生しました

平成21年3月、浜田市で「認定就農者」が新たに2名誕生しました。「認定就農者」とは、県から就農計画の認定を受けた、新たに就農しようとする青年等のことです。(市町村が認定する「認定農業者」とは異なります。)

ひとりにはピオーネの生産を主体とする中下祐介さん、もうひとりが和牛繁殖経営を目指す田原正太さん(どちらも金城町出身)で、この4月から就農計画に基づく研修がスタートしています。先進農家で技術を学びながら、就農に向けた投資内容の最終的な見直しや、販路確保をはじめとする所得安定対策を検討することになりますので、支援センターでは関係機関と連携しながら支援していきたいと思っております。

#### 認定農業者支援チーム (担当: <sup>まつい</sup>松井・<sup>まえばら</sup>前原)

## 青年農業者ネットワーク研修会の報告

3月26日に浜田ワシントンホテルプラザで、「浜田・江津地域 青年農業者ネットワーク」の研修会が開催されました。

第1部の意見交換会では、主催者であるJAいわみ中央の和田常務のあいさつに続いて、認定農業者等5名が壇上に登り、「消費者に求められる農業」をテーマに意見を交わされました。

金城町の岡田治夫さん(花き)は、「自分の立ち位置を自覚し、決して諦めないことが大事」と力強く語られ、弥栄町の(農)西の郷の代表理事・美浦竜太郎さんは、広島での実演販売を通して、「消費者との交流や信頼関係の大切さに気付いた」という体験談を披露されました。

浜田・江津地域から参加した農業者や関係者約30名は、それぞれ営農類型が異なるものの、信念を持って前向きに取り組む5名の姿に大きなパワーをもらったようです。第2部の交流会が大いに盛り上がったことは言うまでもありません。



#### 集落営農組織支援チーム (担当: <sup>もりい</sup>森井・<sup>おかもと</sup>岡本)

## 地域貢献型集落営農について



3月10日、大田市で「地域貢献型集落営農育成確保シンポジウム」が開催され、浜田市内の集落営農組織とともに参加しました。

「地域貢献型集落営農組織」とは、農業生産だけでなく農地・経済・生活・人材などを維持する活動により農業や農村の活性化に貢献する組織のことで、県は各組織を独自に評価することで支援に繋げています。

このシンポジウムでは、地域貢献活動に取り組む3つの組織が、女性や高齢者を中心とする活動、U.Iターン者を受け入れての活動など、幅広い活動事例を発表されました。また、パネルトークでは、コーディネーターである明治大学農学部の小田切教授から、「農林水産省主導の農政の中、島根県が“地域貢献型集落営農の指標”を設けたことは大変意義がある」という期待の言葉が寄せられました。

平成20年度から始まった県の「地域貢献型集落営農確保・育成事業」は、新たに集落営農組織を設立したり、既存の組織が地域貢献活動として経済維持・生活維持・人材維持に取り組む際に活用できる補助事業です。初年度は浜田市の営農組合も活用されました。詳細は支援センターまでお問い合わせください。

当情報誌は新規就農者、認定農業者、集落営農組織と関係機関の皆様へ配信しています。ご意見、掲載要望、または配信停止をご希望される場合は下記までご連絡ください。

発刊元 浜田市農林業支援センター

〒697-0024 島根県浜田市黒川町3741 (JAいわみ中央本所分館2階)

TEL: 0855-22-3500 FAX: 0855-22-3477 E-mail: n-shien@city.hamada.shimane.jp